

平成27年度 東京都優秀技能者(東京マイスター)知事賞表彰者一覧

表彰者数:40名(男性:35名、女性5名)、平均年齢:57.4歳(最年長83歳、最年少37歳)

職種	氏名及び所属名	ふりがな	性別	年齢	技能・功績の概要
手かじ工	川澄 巖 (二代目 國治) 有限会社 國治刃物工芸製作所	かわすみ いわお (くにはる)	男	83	60年にわたり、80工程に及ぶ手かじによる鋏作りを行ってきた数少ない職人であり、特に華道・盆栽等で使用する鋏において卓越した技能を有する。伝統的技能に留まらず、軟鉄と鋼の関係や柄の先と本体との隙間に着目するなどの発想で、伝統工芸品チャレンジ大賞等で様々な賞を獲得している。また、大学の非常勤講師や地元小学校の職場体験受入れ、組合の後継者育成事業への参画など後進の育成にも積極的に取り組んでいる。
中ぐり盤工	新関 謙二 株式会社 日立製作所 中央研究所	にいぜき けんじ	男	52	半導体デバイス製造・検査装置を始めとする機械機構装置部品の中ぐり盤加工にて卓越した技能を有し、高精度加工及び難切削材の精密加工における業界の第一人者である。加えて、ジグ中ぐり盤の専用パット開発に代表される数十種の治具考案や機械・材料の特性を熟知した技量により、はやぶさ1号機の開封機構・試料ハンドリング部分作製を担当するほどである。また、大学での講師や所内技能者への指導など、後進の育成にも尽力している。
板金工	鈴木 実 日野自動車 株式会社	すずきみのる	男	58	試作車の板金部品製作からボデー組立技能を持つ第一人者であり、特に手板金による平板から3次元形状に打ち出す作業において優れた技能を有する。その技能により、自社初のゴミ回収車向けスライドドアの開発や大型トラックの軽度障害者向けスライドドアの開発に貢献した。また技能検定合格者の輩出や、2年間に渡る育成プログラムの作成・実践など、後進技能者の育成にも力を入れている。
金属彫刻工	塩澤 政子 有限会社 塩澤製作所	しおざわ まさこ	女	71	鋳金具製作に高い技術を有し、神輿や神社仏閣などの鋳金具製作や文化財の修復保存を行える数少ない技能を有する。さらに、伝統的な技術と現代のデザインと見事に融合させた新しい製品を生み出し、伝統工芸品チャレンジ大賞受賞など多方面において高い評価を得ている。また、日本科学未来館や区立小学校での実演、官公庁研修講師など、後進の育成にも積極的である。
溶接工	夏目 宗一郎 夏目溶接工業所	なつめ そういちろう	男	70	50年以上に渡り、旧国鉄・JRの列車・機関車等のブレーキ溶接を手掛け、特に貨物列車においては、約8割のサイドブレーキを担当する優れた技能を有する。また、ビルの外壁止め金具、パイプラインの裏あて金用純銅・原子力発電所の機械部品等々、どの金属でも溶接できる希少な技能を有する。また、都立訓練校での講師、技能五輪国際大会出場者指導、海外企業での技術指導など後進の育成にも積極的である。
時計・時計類似 機器修理工	前山田 三男 山田時計技術店	まえやまだ みつお	男	70	半世紀以上にわたり精密な腕時計の修理に携わり、様々な修理依頼に対し正確かつ丁寧に施す技能を有する。一般の時計店では用いられていない技法を使用し顧客の満足度向上に努めるとともに、既に製造されていない時計部品などを手作りで加工し修理を施す技能にも優れている。また、区イベントでの実演や、同業他者への技術指導など後進育成にも積極的である。
配電盤・制御盤 組立・調整工	神菊 和也 株式会社東芝 府中事業所	かみぎく かずや	男	39	発電所向け装置を構成する、制御盤、器具及びユニット等幅広い製品の製造に対し高度な技能・技術を有している。その技能で、制御盤組立の流し化によるジャストインで生産性向上やネジ長の統合・削減等、数多くの生産性・品質の向上に貢献した。また、海外火力発電所向け監視制御装置据付けの現地指導や関連会社での講習・社内OJTなど、後進の指導・育成にも尽力している。
電気配線工事 作業員	鈴木 学 株式会社 関電工	すずき まなぶ	男	45	年々複雑化していく自家用電気工作物における、現場の安全・品質・工程の管理能力に優れている。その技能は、東日本大震災直後の仙台及び福島第一原発での復旧作業やバスダクト取り付け治具開発による施工効率・人的災害減少など様々な場面で発揮されている。また、協力企業の特別安全大会での講師や現場OJTなど後進の指導・育成にも努めている。
染物職	高橋 榮一 株式会社 高常	たかはし えいいち	男	67	江戸時代から続く伝統的な染物業に携わり、染色から乾燥までのすべての工程を一手に担う業界の第一人者である。その技能により、染色が困難とされていた古代柄を復刻させた江戸ゆかたを製作し国内外へ広く発信するとともに、長板染めでは片面への型染めのみで両面に鮮明な模様を現す画期的な新技法を開発した。また、国内外からの工場見学受け入れや美大生への指導など後進の指導育成にも尽力している。
染物職	村井 米扶 有限会社 村井染工場	むらい よねすけ	男	79	伝統的な東京本染ゆかた・手拭の染技法を継承する職人である。中でも、高度な技術であるボカシ染めや10色以上の差し分け染めを用いて、現代に合わせた手拭作りを行うなど様々な表現方法を創出した。また、竹竿に反物を掛けて河川などで洗う、竿つぶりを現在でも行える希少な人材である。さらに、区内中学生の見学受け入れや後継者への指導など、後進の育成にも力を入れている。

職種	氏名及び所属名	ふりがな	性別	年齢	技能・功績の概要
なつ染工	金田 朝政 有限会社 金田染工場	かねだ ともまさ	男	45	東京染小紋に長年従事し、精巧な柄の伊勢型紙の細かな文様をズレなく染め上げる技術に優れている。また、伝統的技法に捉われずに、蒔糊における手順を改良することで13mに及ぶムラのない防染の実現や、メンズ江戸小紋を結城紬で染めるなど新しい試みに常に挑戦している。加えて、区内外の小学生に対する実演や見学受け入れなど、後進の育成に力を入れている。
友禅染工	上原 實 (峯中) 株式会社 彩浩苑	うえはら みのる (ほうちゅう)	男	71	半世紀以上に渡り友禅染の製作に従事し、図案作成から仕上までの20工程を一人でこなすことのできる優れた技能を有している。また、淡色でシックなものが多い手描き友禅において、ぼかしの活用やオリジナルカラーを挿すことで特徴的な彩色・柄の作品を生み出している。また、区立小学校での体験指導や江戸たても園での実演、区の後継者育成事業への参画など後進の指導・育成に積極的に取り組んでいる。
寝具仕立工	重田 亮一 有限会社 重田ふとん店	しげた りょういち	男	46	寝具製作全般において優れた技能を有し、特に技術的に難しいとされる薄い布団の製作に卓越している。中でも、木綿の夏掛けふとん製作において研究・改善を重ね、耐久性と作業性を両立するとともに軽量化も兼ねた優れた工法を考案した。また、各種イベントでの実演や区の講習会講師など、一般や子ども向けの講習にも精力的に活動し、後進の育成・発掘に努めている。
婦人・子供服 注文仕立職	吉田 素子 e・f・q 主宰	よしだ もとこ	女	67	洋裁の技能全般に優れ、特に洋服と古布を利用してバッグを作るなどのリフォーム技術に卓越している。加えて、従来のパターンを基に生地のカ断法を変える・一部をくり抜いて柄合わせを考えるなどの新しい技法を考案して洋裁業界の技能向上に努めた。さらに、各種イベントや小学校、区の教育フォーラムでの実演など後進の育成にも積極的に取り組んでいる。
和服仕立職	川面 房子 川面和裁教室	かわつら ふさこ	女	75	種々の和服仕立てに従事して培った幅広い知識・技能を有し、デザインコートに代表される現代の感性を融合させた和裁技術の確立や創作紗無双のような美しい着物製作に尽力している。また、袖の縫込みにおいて「あたり」の出ない独自技法を生み出し業界の技術向上に貢献した。加えて、中学校での浴衣着付指導及び区の浴衣縫い方講習会での指導など、後進の育成などにも尽力している。
和服仕立職	平原 豊一 株式会社 平原和裁技能者 養成所	ひらはら とよかず	男	49	長年和裁に従事しており、一般的な着物の仕立のみならず、あらゆる発注に耐える技能を有する。また、両面(リバーシブル)羽織における衿付けが両面同じに見える独自の技法の考案や紗合わせ仕立てにおける裏から縫い目が見えない工夫など、非常に高い技量を持つ。また、和裁高等職業訓練校の立ち上げや検定合格者の多数輩出など、後進の指導・育成にも尽力している。
和服仕立・修理職	多田 晴美 有限会社 石狩和服裁縫所	ただ はるみ	女	50	和裁の技能全般に優れており、特に極薄の紗の生地を使用して作成する、巻き縫いの技法を用いた薄物仕立ての羽衣コート制作において他の追随を許さない。また、古式和裁技法の裁ち目無し宮参り掛け着を継承する数少ない職人であるとともに、綿入れ半纏の袖の改良など現代に合わせた和裁技術開発にも余念がない。加えて、都立職業訓練校での講師や各種イベントでの実演、多数の技能士輩出など後進の育成にも尽力している。
建築大工	片岡 茂樹 片岡工務店	かたおか しげき	男	51	木造建築の基本となる規矩術や伝統工法である継手・仕口の加工技術に優れた技能を有する。特に、規矩術における四方転びを得意とするとともに、扇垂木による唐傘天井施工などの希少な技能も持ち合わせる。加えて、さしがねによる墨付け工法の欠点を修正した定規を考案・普及し、建築大工にとって必要な墨付け作業の発展に貢献した。また、技能五輪国際大会入賞者輩出や長年にわたる職業能力開発短期大学校講師等後進の育成にも余念がない。
タイル張工	相田 誠 有限会社 相田タイル工場	あいた まこと	男	51	タイル張りの伝統的な技法である積上げ張り・圧着張り・密着張り工法のほか、左官等の技能を有するタイル張り工である。工期短縮や省力化による外壁剥離事故の増加する中、モルタル調合や下地処理技術を工夫した安全・適正施工法を提案・実践する優れた技能を発揮している。また、都立職業訓練校講師や職人塾の受け入れ、イベントでの実演など後進の育成にも積極的に貢献している。
配管工	渡辺 才司 渡辺工業 有限会社	わたなべ さいじ	男	65	給排水衛生、空調設備等に関する幅広い知識と技能を有し、特に給水管の分岐穿孔、給湯配管等の技能に優れている。加えて、新技術・技能の活用にも優れパソコン黎明期の上下水道申請CAD開発など配管業務の効率化に寄与した。また、長年にわたる首席技能検定委員経験や組合講習会講師、給水管工事配管検定での模範演技など後進の育成にも積極的に貢献している。

職種	氏名及び所属名	ふりがな	性別	年齢	技能・功績の概要
プラスチック 切削機械工	石井 貴幸 株式会社 いしい旋盤製作所	いしい たかゆき	男	39	半導体機械部品の加工に長年従事し、国内でも数少ない特殊技能を有する。特に、心臓バイパス手術用の医療機器部品製作に必要な、難度の非常に高いテフロンベローズ加工技能・特殊ベローズ加工技能及びテフロンダイヤフラム加工技能に優れている。また、工業高校講師・研修生受入れ、社員指導及び自社新聞作成による技能の周知など、後進の指導・育成にも尽力している。
かわぐつ製造工	捧 恭子 Belpasso	ささげ きょうこ	女	54	日本・イタリアで習得した高い技術や豊富な知識を活かして、長時間履いても疲れないデザイン性の高い靴を作る優れた技術者である。特に、従来の平面的型紙設計から、木型に透明なテープを用いて自由な立体イメージを、木型から平面に落とし込む方法を考案して斬新かつ美しいデザインの靴を表現している。また、専門学校講師や区イベントでの実演、後継育成事業への参画等、後進の指導・育成にも積極的である。
かわ裁断工	矢部 恵延 有限会社 印傳矢部	やべ よしのぶ	男	72	長年鹿革袋物製造に従事し、伝統的な燻(いぶし)技法から印傳(いんでん)漆付(うるしづけ)の技能、特に鹿革袋物製造において卓越した技能を有する都内唯一の職人である。また、伝統的技能に留まらず各種創作コンクールにて印傳技術を用いた新製品を開発し、上位入賞を獲得するなど、現代に合わせた改良に余念がない。また、3代目育成などその卓越した技能・技術を後進へと継承している。
かわ縫製工	木島 慎哉 オーダーR	きじま しんや	男	40	革製品全般の技術を有し、小物・鞆から難易度の高い靴などの全工程を一貫して行うことが出来る。また、オリジナルブランドを立ち上げ、クラウドファンディングの利用やLED内蔵のスニーカー製作への参画など、現代の技術・商材と昔ながらの革職人の技能の融合による技術革新や市場開拓に尽力している。加えて、都立職業訓練校講師やOJTによる実技指導、百貨店での出張実演など後継者の指導・育成を積極的に行っている。
水産ねり物製造工	秋元 浩志 株式会社 紀文食品	あきもと ひろし	男	53	かまぼこ製作における伝統的な手作り技術を有し、特に大小を問わず仕上げの板付け技術においては他の追随を許さない。また、既存商品の品質改善にも優れ、「板付きかまぼこ製造工程におけるすり身のゲル化方法」に代表される3件の特許を取得し業界の発展に貢献した。また、技能士の多数輩出やかまぼこ体験教室講師など後進の育成にも力を入れている。
理容師	鈴木 晴記 ヒッツヘア カミング	すずき はるき	男	56	理容師として優秀な技能を有し、アイロンを活用してヘアスタイルを創作する技能は業界の第一人者である。加えて、今まで課題とされてきた平接アイロンによるカール技術の平易化に成功し、理容業界の技術発展に寄与した。また、理容師試験委員、全国大会優勝者の輩出及び東京都選手団コーチなど後進の指導・育成にも尽力している。
美容師	枝折 繁 SHIGE	しおり しげる	男	66	カット、パーマ、カラーなど美容全般における高い技術を有するとともに、美容新技術であるまつ毛エクステンションを世に広めた業界の第一人者である。その造詣の深さから、長時間における施術においても美容師に負担をかけない、オリジナルツイーザーを考案した。また、全国美容学校教員への講習や一般雑誌での技術披露など後進の育成にも余念がない。
日本料理調理人	青山 嘉剛 割烹 嶋村	あおやま よしまさ	男	53	関東料理を基礎に利便性、即席性に優れた喰切り料理において優れた技能を有している。特に、江戸時代の会席料理を現代風にアレンジした幕末会席を考案し、低廉な価格で提供することで日本料理の大衆化にも大きく寄与した。また、展示会・料理講習会・機関誌等を通じて技術披露を行うなど後進技能者の指導・育成にも尽力している。
日本料理調理人	大嶋 高幸 株式会社なだ万	おおしま たかゆき	男	57	日本料理の伝統を守りながらも新しい料理法・食材・調味料等を研究・開発できる、非常に優れた技能を持つ。真空調理法の早期取入れによる衛生管理・作業効率の向上や世界の食材を使用した日本料理の開発によりアジア・ヨーロッパ等の地域を問わず諸外国要人へ提供できる調理技能は、特に卓越している。また、各種調理師専門学校講師や技能五輪入賞者の輩出など後進の育成も積極的に行っている。
日本料理調理人	小林 裕人 KKRホテル東京	こばやし ひろと	男	53	関西料理の技能に習練し、特に京料理の伝統的な味を守りながら時代に適応した創意工夫を凝らした料理提供において優れた技能を有する。また、日本料理ではあまり使用されることのない食材の使用や調理法、素材の効率的な使用法を考案するなど、日本料理の発展に貢献した。また、講習会・展示会・日本料理専門誌を通じて後進技能者の指導・育成に尽力している。

職種	氏名及び所属名	ふりがな	性別	年齢	技能・功績の概要
日本料理調理人	松本 昇 新ばし「金田中」	まつもと のぼる	男	64	伝統的な日本料理技術の豊富な知識と経験に基づき、素材の活用と技術の応用力に優れている。また、茶事など日本料理と密接な関係を持つ文化への造詣も深く、自身の得意とする会席料理との融合を図った現代的煎茶会席料理を考案し伝統のみならず新たな会席開発に尽力している。また、機関誌での技術披露や各種調理団体での講師など後進の指導・育成にも積極的に取り組んでいる。
西洋料理調理人	折田 浩 株式会社 欧州商事 銀座イタリー亭	おりた ひろし	男	68	西洋料理、特にイタリア料理に長年従事し、伝統的調理技法を踏襲しながら古典料理と今日の時流に適合した料理開発に優れた技能を有する。中でも、イタリアン懐石の考案は、当時マイナーであったイタリア料理を広く一般に啓蒙し今日の隆盛に寄与した。また、料理協会の技術講習会や都民を対象とした料理教室も開催し特別支援学校での食育活動も行うなど、後進の育成に尽力している。
中華料理調理人	鈴木 幸一郎 株式会社 プリンスホテル	すずき こういちろう	男	61	特大干しナマコを乾燥状態から元の状態へと戻す作業において高い技能を有する希少な職人であり、素材を痛めずに柔らかく大きく戻しつつ時間短縮を行い作業効率向上を実現した。加えて、上海・北京・広東料理の技法を修得し、自身の高い包丁技術とともに中国伝統料理を現代日本人に合わせたものへと昇華する高い調理技術も併せ持つ。また、全国大会優勝者の多数輩出や専門書での技術披露、検定地方試験委員など後進の指導・育成にも余念がない。
バーテンダー	長島 茂敏 株式会社 ホテルオークラ東京	ながしま しげとし	男	52	酒各種の専門知識・製作調合技術・接客技能すべてにおいて優れた技能を有し、特に伝統的なヨーロピアンスタイルのシェーキングによる創作カクテルを得意とする。その技能は、国内創作コンクール準優勝及びメーカ主催の国際大会準優勝など様々な大会にて発揮されている。また、組合主催講習会や海外ホテルにおける講師など後進の育成にも尽力している。
ソムリエ	森 覚 コンラッド東京	もり さとる	男	37	ソムリエの専門知識・技能全般に卓越するとともに、特に正確な啗酒技術に秀で、全国大会及びアジア大会で優勝するなど優れた技能を有する。その技量に基づき、200種類に及ぶフランスワインについて、味や香りの分析を記したガイドブック出版などワインの消費拡大にも寄与した。加えて、各支部で開催されるセミナー講師や全国大会入賞者輩出など後進の育成にも積極的に取り組んでいる。
かばん・袋物製造工	鮎澤 剛 鮎藤革包堂	あゆさわ つよし	男	44	牛革から爬虫類皮革まで30種以上の革を扱い、素材の特徴を活かした革製品をデザインから完成に至るまで、一人でこなす希少な職人である。また、伝統的な手作業に拘りながらも、カメラケース等に用いられるしぼり技法の応用や革に負荷をかけずに縫い合わせる方法などの独自の技法を多数考案し、皮製品の技術向上に貢献した。また、同業他社向けのかばん教室講師や工房での後継者への指導・育成にも積極的である。
和楽器組立工	伊藤 驍 伊藤和楽器店	いとう たけし	男	71	他の職人では手掛けない象牙やべっ甲のバチ、駒の製作まで三味線を一から手作りできる希少な職人である。三味線の棹(さお)は、3分割出来るようになっており、氏はその間を繋ぐ「継ぎ手」製作技法の第一人者である。スキ間が出来て音を回避しつつ音の伝導を確保するこの重要な部分において、比類ない技能を持つ。また、これまで中学生への製作実演や大学で非常勤講師を行うなど後進の育成に尽力している。
漆工	稲田 潤一 稲田漆工芸	いなだ じゅんいち	男	46	下地から上塗りまで全工程を一人で手塗りによって行う東京の伝統的な漆工技術を継承する希少な職人である。その技術は、重要文化財の神輿修復及び建築物増築に係る拭き漆作業等に活かされている。この、文化財などにおける修理技能は、他の追随を許さない。また、同業者への技術披露や他県の中学生に対する実演など、後進の発掘・育成にも力を入れている。
印章彫刻工	望月 一三 一岳堂	もちづき いちぞう	男	61	伝統的な手彫り印章彫刻技術、特に木口印章彫刻を得意とする組合における第一人者である。一方で、工学部出身の経験を生かしIllustratorやPhotoShop等によりパソコンでの字入力を改善し、手彫り作業・ロボット彫刻機による彫刻作業のどちらにも利用しても、彫刻師独自で唯一無二の印章が作れる技術を生み出した。また、その技術の講習会実施やものづくりフェア等での実演など、後進の育成にも尽力している。
フラワー装飾	田中 一彦 花征	たなか かずひこ	男	45	日本の生け花と欧米のフラワーデザインを融合し、職務としてのフラワー装飾技能へと発展させた次世代を担う人材である。その技能は、国内のグランドマスター大会優勝や、国際大会での3位入賞などいかに発揮されている。また、自身が主催するフลาวースクールの立ち上げや多数の技能士輩出、専門誌でのデザイン公開など後進の育成にも大きく貢献している。